



↑1 避難するウクライナ国民(ウクライナ、2022年) ロシア軍の攻撃を受けて、国民の多くが国外に避難しました。

←2 ロシア軍による攻撃を受けた市街地(ウクライナ、キーウ近郊、2022年)

対話 写真のなかの同年代の子どもたちはどんなことを考えているだろうか。

# 1 現代における紛争

## 解説① 冷戦

第二次世界大戦後のアメリカを中心とする西側(資本主義)陣営と、ソ連を中心とする東側(社会主義)陣営の対立を指します。1989年に冷戦は終結し、ソ連もその後、ロシアなど各国が独立し、91年に解体しました。

## 解説② 地域紛争・内戦

国内やその周辺国間で起こる紛争を地域紛争、国の内部で起こる紛争を内戦といいます。



↑3 武装勢力から解放された子ども兵(南スーダン、2015年) 世界には武装勢力の戦闘員にさせられる子どもが数多くいます。



学習課題

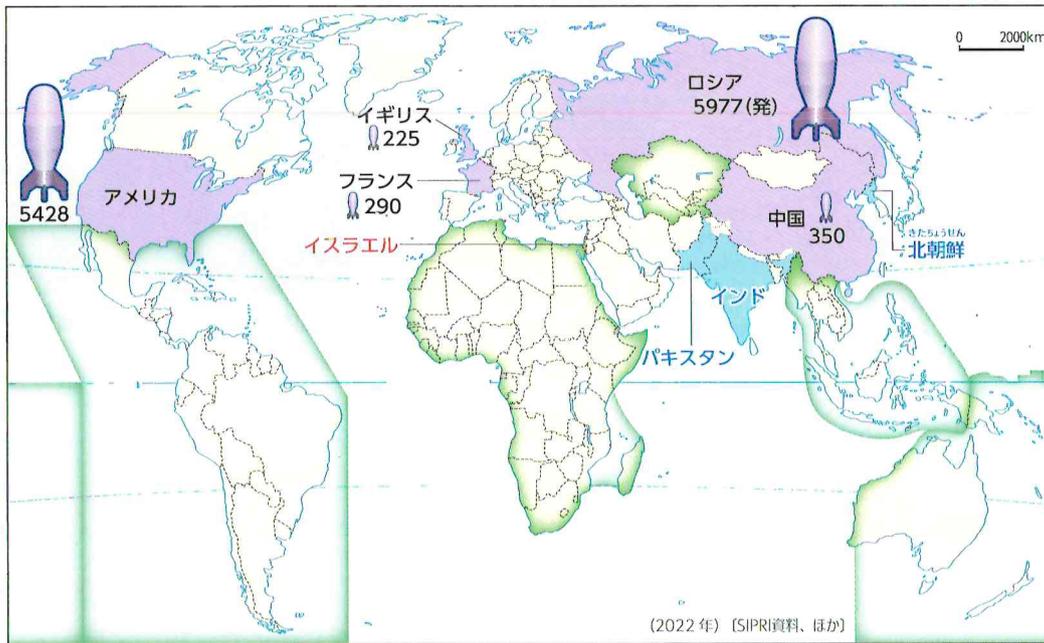
紛争と難民問題が続いているのには、どのような背景があるのだろうか。

### 紛争の背景と平和の構築

冷戦期にはベトナム戦争に見られるように、大国であるアメリカとソ連が他国で起こる紛争への支援や介入を行っていました。冷戦終結後には民族や宗教、さらに経済格差や資源争奪を背景にした地域紛争や内戦が増加しています。また、植民地からの独立後の不安定な政治が一つの引き金になり内戦が生じている場合もあります。ひとたび紛争が起こると、立場の弱い人々の生活は失われ、人権が侵害されます。紛争後も人々は貧困に苦しみ、その不満から統治が安定せず、さらなる紛争へとつながる悪循環も多く見られます。こうしたなかで、2022年のロシアによるウクライナ侵攻は、国際連合憲章などの武力の不行使を求めている国際法に違反した侵略行為と考えられており、多くの国がロシアの行為を批判しています。

紛争を終結し、平和を構築するにはどうすればよいでしょうか。紛争は当事者の合意によって終結する場合があります。また、国際社会が中心となってあえて武力を用いて終結させることもありますが、その場合は国連安保理決議など十分な根拠が求められます。紛争の終結後も再発を防ぐために、国連をはじめとする国際社会は、





## 核兵器の保有国は？

「核なき世界」の実現が  
目指されている一方で、  
核兵器の広がりも懸念さ  
れています。

### 核兵器の保有状況(国・地域別)

- 核保有国(NPTによる核兵器国)
- 核保有国(NPT未加入国・NPTによる非核兵器国)
- 核の保有または開発が疑われている国
- 非核地帯条約の適用地域  
※域内国の核兵器の生産・取得・保有を禁止する  
※南極は非核地帯と決められている
- 核弾頭数(発)

🗨️ 対話 🗨️ 日本の近隣にある核兵器の保有国を地図から挙げてみよう。

↑ 1 核兵器の保有状況

## 2

### 兵器の脅威と 軍縮の意義

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。

① 締約国を核兵器国(アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国)とそれ以外の非核兵器国に分けて、非核兵器国の核兵器取得を禁じています。

年	事項
1945	アメリカ、広島・長崎に原爆投下
1963	米英ソ、部分的核実験禁止条約(PTBT)に調印
1968	核拡散防止条約(NPT)に米英ソなどが調印
1987	米ソ、中距離核戦力(INF)全廃条約に調印
1991	米ソ、第1次戦略兵器削減条約(START I)に調印
1993	米ロ、第2次戦略兵器削減条約(START II)に調印
1996	包括的核実験禁止条約(CTBT)国連で採択
1997	対人地雷禁止条約署名
1998	インド、パキスタンが核実験
2002	米ロ、モスクワ条約調印
2006	北朝鮮が核実験
2008	クラスター弾に関する条約調印
2010	米ロ、新 START 条約調印
2017	核兵器禁止条約採択(21年発効) 核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)、 ノーベル平和賞受賞
2019	INF 全廃条約が失効

↑ 2 核と軍拡・軍縮をめぐる動き 小地歴



学習課題

核兵器をめぐる状況は、どのように変化してきているだろうか。

### 核兵器の 廃絶に向けて

広島と長崎に投下された原爆は、核兵器がひとたび使用されれば、途方もない規模の破壊を招くということを世界に示しました。

しかし冷戦のさなか、アメリカとソ連は、核兵器を十分にもつことで相手に仕返しを脅しをかけて攻撃を防ぐ核抑止の考え方をとったため、大量の核兵器を保有することになりました。冷戦の緊張が緩み始めると、軍縮の機運が高まり、米ソは「核戦争に勝者はなく、決して戦われてはならない」と宣言して、核軍縮交渉を開始しました。核兵器とそれを積むミサイルの削減は、ソ連崩壊後のロシアとアメリカの間でも合意されましたが、現在では軍縮交渉は停滞し、ロシアは核兵器の使用をちらつかせることさえあります。近年は、中国や北朝鮮など、核兵器やミサイルの増強を図る国もあります。

他方で、核兵器保有国を増やさない取り組みも進んできました。核拡散防止条約(NPT)に加え、国際原子力機関(IAEA)による査察や、包括的核実験禁止条約(CTBT)による核実験の禁止への取り組みが挙げられます。しかしこれらの取り組みに従わない国や国内事情から条約に参加しない国も存在し、CTBTは発効していません。

## 人工知能(AI)と無人兵器

先端技術を用いた無人兵器の研究・開発が各国で広がっています。現在は人間の操作によって動くものがほとんどですが、人工知能を搭載してみずから判断して行動するAI兵器の開発も進んでいるとされています。AI兵器は、火薬、核兵器に続く「第3の軍事革命」ともよばれます。人間の関与の範囲や規制方法など、国際的なルールづくりが求められています。



↑3トルコ製の無人戦闘航空機 ロシアによるウクライナ侵攻では、ウクライナ軍によって多くのトルコ製の無人戦闘航空機が使用されました。

毒ガスを使う化学兵器や有害な細菌をばらまく生物兵器などの大量破壊兵器、対人地雷やクラスター弾などの戦後も地上や地中に残存して社会の復興に大きな傷を残す兵器についても、条約で規制されています。条約の作成には非政府組織(NGO)も活躍しました。

### 先端技術と兵器

アジアをはじめ、経済発展を遂げた国のなかには、軍事予算を増やし、新兵器を開発、輸入している国もあります。領土をめぐる問題などをきっかけに、実際に武力が使用されたり脅しに使われたりする可能性が懸念されています。また私たちが依存するインターネットなどのサイバー空間を狙った攻撃や、人工知能(AI)をはじめとした先端技術が軍事目的に利用されることを懸念する声もあります。

### 軍縮の重要性

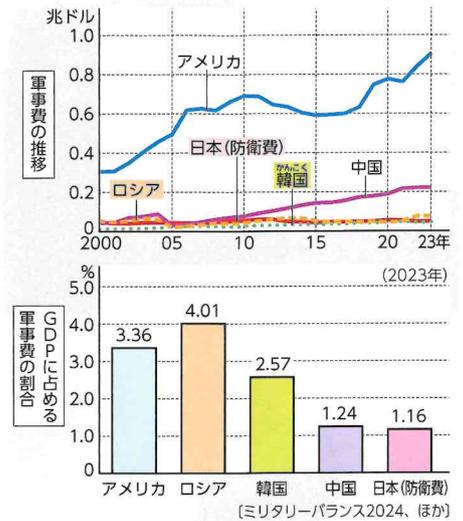
兵器はひとたび使われれば、多くの人を苦しめます。しかし今日も、多くの国が毎年巨額の軍事予算を組み、兵器を開発し、配備しています。自国を防衛するために十分な武力をもつことで紛争を防ぐことが目的とはいえ、国家間の相互不信によって必要以上に軍拡(軍備の拡張)をしているともいわれます。軍縮は、武力紛争の防止につながるだけでなく、紛争が発生した場合の被害を少なくすることにもつながるため、国連と各国にはその実現に向けた努力が求められています。

### アクティビティに挑戦

持続可能な社会のための支援策を提案しよう②

p.207  
で確認

Q 核兵器の廃絶や軍縮を進めるために、どのような支援の方法があるだろうか。

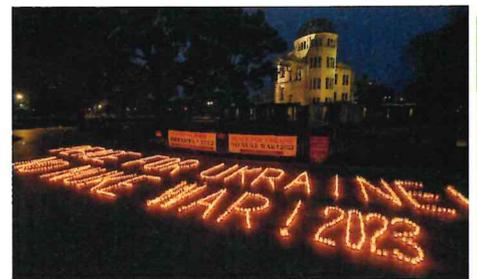


↑4主な国の軍事費(防衛費)の推移とGDPに占める割合 **資料活用** 軍事費が増えている国を確認しよう。

② 多数の小型爆弾を広範囲にまき散らす兵器です。不発弾による市民への被害が問題となっています。



↑5北朝鮮によるミサイル発射実験(2022年)



↑6核兵器廃絶とウクライナの平和を願いともされたキャンドル(広島県広島市、2023年)

核抑止とはどのような考えか、確認しよう 本文から書き出してみよう。

核兵器の廃絶や軍縮のために国際社会ではどのような対策が必要か、説明しよう あなたの考えを説明してみよう。



## 世界で頻発する異常気象

← 1 世界各地で起こるさまざまな異常気象 **地図帳活用**

- a** 大規模な山火事 (アメリカ、2021年)
- b** 記録的な猛暑 (佐賀県、2021年)
- c** 干ばつによる不作 (ケニア、2022年)
- d** 高潮による浸水 (イタリア、2019年)

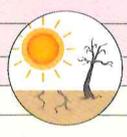


🗨️ **対話** 写真のような地球温暖化と関係していると思われる身近な事象を挙げてみよう。

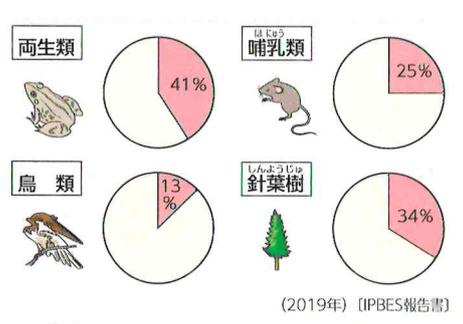
### 3 地球規模で広がる環境問題

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。

1位	気候変動対策の失敗
2位	異常気象
3位	生物多様性の消失
4位	社会的な結束の低下
5位	生活の破綻
6位	感染症の広がり
7位	人為的な環境災害
8位	天然資源の危機
9位	債務による危機
10位	国家間の経済的影響の対立



※ は環境問題に関するもの(2022年)【世界経済フォーラム資料】



↑ 3 絶滅のおそれのある動植物の割合

### 学習課題

なぜ、地球環境問題の解決には国際協調が求められるのだろうか。

**私たちと地球環境問題**

日本に住む私たちは、記録的な猛暑や甚大な災害をもたらす豪雨を毎年のように経験しています。これらの異常気象や自然災害は、人間の経済活動の規模や範囲が拡大することによって引き起こされる地球温暖化と関係が深いとされています。地球温暖化のほか、砂漠化、森林の減少、大気汚染、海洋汚染、野生生物の減少や生態系の変化といった国境を越えて地球全体に広がる環境問題を、**地球環境問題**といます。

地球環境問題は、地球規模のさまざまな課題とも深く関わっています。例えば、地球温暖化による環境の変化によって長年栽培してきた作物の収穫量が減って食料不足になったり、干ばつによって水不足になったりすることで、飢餓や紛争が起こることもあります。また、地球環境問題は、私たちの健康や生物の生存に脅威を与えるだけでなく、子や孫などの将来の世代にも大きな影響を及ぼします。

**地球環境問題の難しさ**

地球環境問題は、国境を越えて広がるため、一国では解決できません。また、国によって経済規模や生活水準が異なるため、取り組みにも違いがあります。さらに、経済格差や貧困とも深い関係があります。例えば、多く

プラスチックは、生活に密着した便利な素材です。他方で、適切に処理されないプラスチックごみが海に流れ込み、海の生物がごみに絡まったり、誤飲したりするケースが後を絶ちません。「2050年には海洋プラスチックごみの量が、海に生息する魚の量を上回る」という予測もあります。



**↑4** プラスチックごみを回収する活動(兵庫県相生市) プラスチックごみの回収活動が全国で行われています。

5mm以下のマイクロプラスチックは、有害な化学物質を吸着しやすく、海の生態系に深刻な影響を与えるほか、魚を食べる人間への害も指摘されています。

発展途上国では、先進国に輸出する安価な木材や農畜産物、工業製品を大量生産するために、森林が乱開発されています。発展途上国の森林開発は、先進国の豊かな生活と無縁ではないのです。

**地球環境問題への国際的な取り組み**

地球環境問題を解決するためには、経済格差の是正や貧困の解消を含めた、持続可能な社会

に向けた国際協調が不可欠です。1992年にリオデジャネイロにおいて国連環境開発会議(地球サミット)が開催されて以降、特に地球温暖化については、主に気候変動枠組条約締約国会議(COP)でその対策が話し合われています。

97年の第3回締約国会議(地球温暖化防止京都会議)で採択された京都議定書では、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減目標が、初めて数値目標として定められました。しかし、中国をはじめとする発展途上国には削減義務がないことや、締結当時最大の排出国であったアメリカが離脱するなどの課題がありました。そこで、

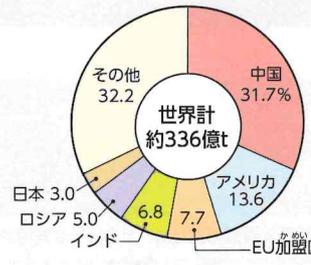
2015年に発展途上国を含むすべての国が参加して温室効果ガスの削減に取り組むパリ協定が採択されました。パリ協定では、世界の平均気温の上昇を産業革命以前と比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求するという目標が示され、各国が温室効果ガスの具体的な削減目標を掲げて取り組みを進めています。

**アクティビティに挑戦** 持続可能な社会のための支援策を提案しよう③ p.207で確認

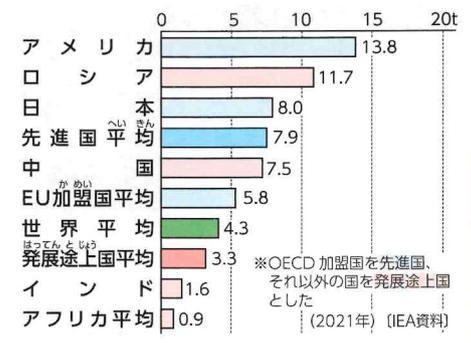
**Q** 地球環境問題の解決のために、どのような支援の方法があるだろうか。

年	事項
1972	国連人間環境会議 国連環境計画(UNEP)発足
1982	国連環境計画管理理事会特別会合
1985	ヘルシンキ議定書採択(酸性雨の原因となる物質の削減)
1987	モントリオール議定書採択(フロンなどの生産を規制)
1989	バーゼル条約採択(有害廃棄物の越境移動およびその処分の規制)
1992	国連環境開発会議(地球サミット) 環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ21採択
1997	地球温暖化防止京都会議
2002	持続可能な開発に関する世界首脳会議
2012	国連持続可能な開発会議
2015	パリ協定採択(16年発効、20年以降運用開始)

**↑5** 地球環境問題をめぐる世界の動き



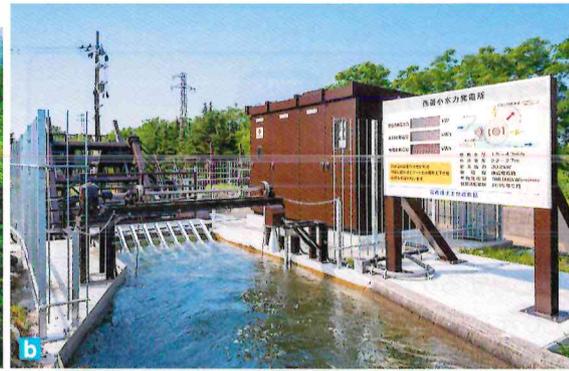
**↑6** 世界の二酸化炭素排出量



**↑7** 主な国と地域の1人あたりの二酸化炭素排出量 **資料活用** 先進国と発展途上国・アフリカの平均を比べよう。

**確認しよう** 近年の地球温暖化に関する国際的な取り決めの内容を、本文から書き出してみよう。

**説明しよう** 地球温暖化の解決には国際協調が不可欠である理由について、あなたの考えを説明してみよう。



ちいき  
地域に根ざした  
さいせい かのう  
再生可能エネルギー



←1 各地の再生可能エネルギーによる発電 地図帳活用

- a 風力発電所 (佐賀県唐津市)
- b 小水力発電所 (富山県富山市)
- c 太陽光発電所 (神奈川県愛川町)
- d 地熱発電所 (大分県九重町)

対話 あなたが住む市区町村に適した再生可能エネルギーの発電は何だろうか。

## 4 資源・エネルギーの問題

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。

国際社会における資源・エネルギーの問題は、どのように変化しているのだろうか。

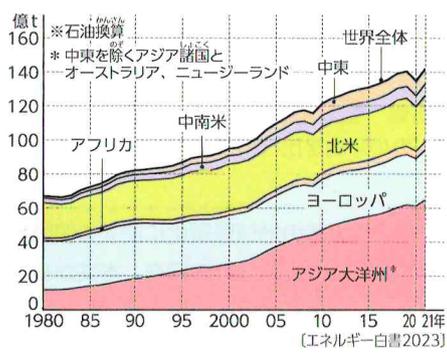
- 化石燃料(エネルギー)
  - 石炭、石油、天然ガスなど
- 非化石エネルギー
  - 原子力
  - 再生可能エネルギー
    - 水力、太陽光、風力、地熱、バイオマスなど

### 資源・エネルギーと地球温暖化

石炭や石油などの化石燃料は、発電や自動車の燃料などのエネルギー供給源として使われており、私たちの経済活動に欠かせない資源です。そして経済活動が盛んになるほどエネルギー消費量は多くなるため、人口増加や経済成長によって、世界のエネルギー消費量は増大してきました。他方、資源の産出国は特定の地域に限られているため、世界的な需要の高まりや産出国の供給量の抑制、さらに戦争や紛争などの国際情勢によって、安定した供給が難しくなるおそれもあります。

また、資源・エネルギーの問題は、地球温暖化とも深く関係しています。化石燃料は、エネルギーとして燃焼する際に地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを大量に排出します。私たちは今、エネルギー資源を安定して確保すると同時に、化石燃料に依存しない社会を実現していくという、非常に大きな問題に直面しています。

### ↑2 エネルギーの種類



### ↑3 世界のエネルギー消費量の推移

小地歴 地図帳活用 資料活用 消費量が増加している地域を確認しよう。

### 世界的なエネルギーの転換

化石燃料に代わるエネルギー資源の確保のために、再生可能エネルギーが世界中で広がっています。再生可能エネルギーは、永続的に利用できるエネルギーで、

未来に向けて **水素エネルギーの可能性**

環境・エネルギー

次世代のエネルギーとして注目されているのが水素です。水素は化石燃料や再生可能エネルギーからつくることができ、燃料電池を用いることで、二酸化炭素を排出せずに電気や熱などのエネルギーを効率的に取り出すことができます。現在は自動車やバスの動力としての利用が中心ですが、再生可能エネルギーから水素を製造し、発電からエネルギー供給までを行う水素を基盤としたまちづくりにも期待が集まっています。

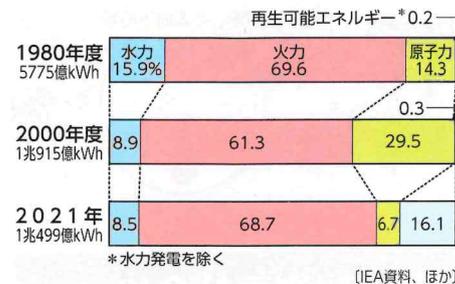


↑4 水素を動力とするバス(東京都江東区)



↑5 天然ガスの鉱場(新潟県長岡市) 化石燃料のなかでも天然ガスは発電時に排出する二酸化炭素の量が少ない資源とされています。国内でも産出されています。 **地図帳活用**

水力、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどがあります。これら①の多くは発電時に温室効果ガスを排出しないエネルギーで、特に太陽光や風力による発電は、国際的な開発競争のなかで発電の費用がp.183F1大きく下がっており、主力の電力源となりつつある国もあります。



5 **日本のエネルギー政策** これまでの日本の発電エネルギーは、火力発電、水力発電、原子力発電が中心となってきました。2011年の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故以降は、それまで発電量の約3割を占めていた原子力発電の割合を減らす一方で、化石燃料による火力発電の割合を増やしています。

↑6 日本の発電量の内訳 **資料活用** 火力と原子力の割合の変化を確認しよう。

10 原子力発電は、少ない燃料で多くのエネルギーをつくり出し、温室効果ガスの排出量も少ない発電方法です。しかし、発電後に生じる放射性廃棄物の処理や、廃止後の解体方法とその費用、さらには事故を起こさないための安全対策や事故が起きたときの対応の難しさといった問題もあります。

① 生物に由来するエネルギーで、家畜の糞尿などから得られるメタンガス、さとうきびやとうもろこしといった植物から得られるエタノールなどがあります。

15 日本は、エネルギーの自給率が低く、石油や天然ガスなどのほとんどを輸入に頼っています。持続可能なエネルギー政策のために、安定供給のしやすさ、発電費用などの経済性、環境への負荷、安全性の四つの観点のバランスをとりながら、最適なエネルギーの組み合わせを考えていくことが求められています。p.208



↑7 福島第一原子力発電所(2021年) 手前にあるタンクは、高い濃度の放射性物質を含んだ水を浄化処理した処理水を貯めています。

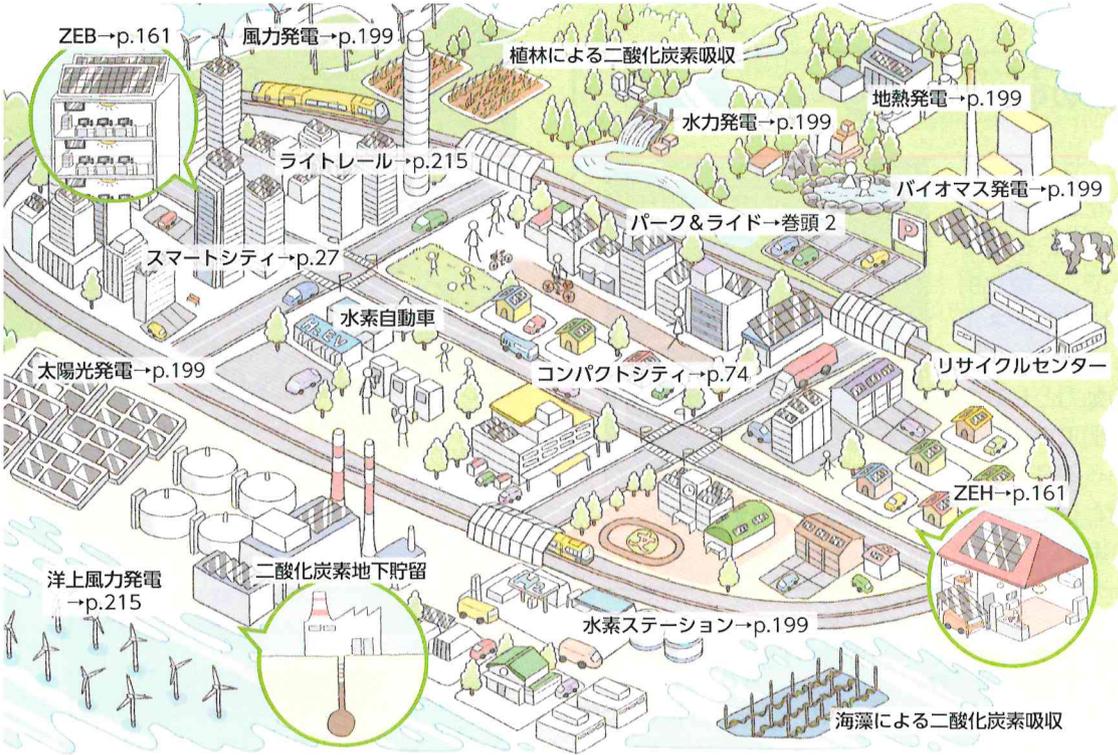
2 節 地球課題とその解決

アクティビティに挑戦 **持続可能な社会のための支援策を提案しよう④** p.207 で確認

Q 持続可能なエネルギー資源の確保のために、どのような支援の方法があるだろうか。

資源・エネルギーの問題が地球温暖化と深く関係している理由を、確認しよう 本文から書き出してみよう。

持続可能なエネルギーの最適な組み合わせについて、あなたの考えを説明しよう を説明してみよう。



## 脱炭素社会を 想像してみよう

地球温暖化を抑えて持続可能な社会を形成するために、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない新しい社会づくりが始まっています。

### 1 脱炭素社会のイメージ

対話 イラストを参考に、あなたが考える脱炭素社会への取り組みを挙げてみよう。

## 5 脱炭素社会に向けた取り組み

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。

学習課題 脱炭素社会の実現に向けて、国際社会はどのような取り組みを進めているのだろうか。

### 脱炭素社会とは

2016年にパリ協定が発効され、国際社会は脱炭素社会に向けて動き出しました。その背景

には、自然災害や資源の枯渇につながる地球温暖化が社会に対する大きなリスクであるという認識があります。

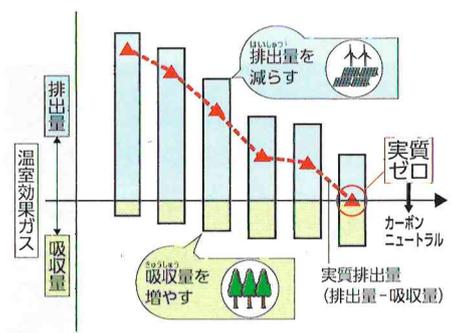
脱炭素社会とは、人間の経済活動などで排出される温室効果ガスと、森林や海藻による光合成などで吸収される温室効果ガスの量を同じにして、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す社会のことです。また、脱炭素を達成し、温室効果ガスの排出量が実質ゼロである状態を、カーボンニュートラルといいます。

### 脱炭素社会への日本の取り組み

日本政府は、2030年度までに、温室効果ガスの排出量を13年度に比べて46%減らし、50年にカーボンニュートラルを達成する目標を掲げています。

日本の温室効果ガスの排出は、化石燃料による発電や燃料の燃焼の際に発生する、エネルギー起源によるものが多いという特徴があります。そのため、化石燃料に代わる新しいエネルギーを開発・普及させて、持続可能な電力供給に移行していく必要があります。

また、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の考えをさらに推



### 2 カーボンニュートラル

年度	排出量 (10億t)	産業(工場など)	運輸(自動車など)	発電所など	家庭	その他
1990年度 11億6286万t	11.6286	43.4%	17.9	11.3	8.3	8.3
2022年度 10億3668万t	10.3668	34.0%	18.5	17.3	15.3	8.0, 6.9

※各部門の割合は発電などに伴う排出を含んだ数値 (国立環境研究所資料)

### 3 日本の部門別二酸化炭素排出量

資料活用 割合が増えた部門を確認しよう。



## エシカル消費に取り組もう

環境・エネルギー

エシカル(Ethical)とは「倫理的な」「道徳的な」という意味で、エシカル消費とは、人・社会・地域・環境に配慮した消費・生活行動です。環境に配慮した商品や地域の食材を選択するなど、私たちがエシカル消費という基準でモノやサービスを選択することで、日常生活で排出される温室効果ガスの削減につながり、脱炭素社会の実現に近づきます。

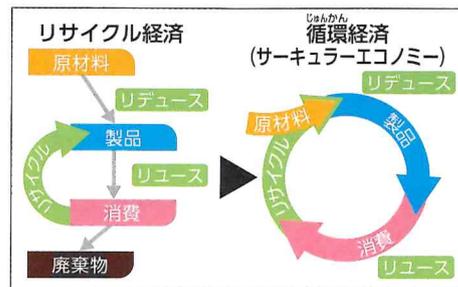
買い物やそれ以外でできることの例	
<input type="checkbox"/>	環境に配慮した商品を購入する
<input type="checkbox"/>	暮らしで使うプラスチックの量を減らす
<input type="checkbox"/>	電気や水などの資源をむだにしない
<input type="checkbox"/>	地域の食材を購入する
<input type="checkbox"/>	ルールに沿ってごみの分別を徹底する
<input type="checkbox"/>	食べ残しをしない
<input type="checkbox"/>	マイボトル・マイバッグを使う

↑4 エシカル消費のためにできること



↑5 住宅の屋根に取りつけられた太陽光パネル(群馬県太田市, 2021年)

し進めて、モノやサービスをつくる段階から、資源の回収や再利用を前提とする循環経済(サーキュラーエコノミー)に社会全体を転換していくことが、脱炭素社会の実現には不可欠です。さらに、私たち一人ひとりが、人・社会・地域・環境に配慮したエシカル消費を推進して生活習慣や消費活動を変えていくことも重要です。



↑6 リサイクル経済から循環経済へ

### 国際競争と国際協調

国際社会では、脱炭素社会の実現を、新しい産業をつくる機会ととらえて、各国がエネルギー開発などを競っています。また、ヨーロッパを中心に、温室効果ガスの排出量に排出枠を設定して国や企業の間で売買する排出権

① リデュース(Reduce)はむだな消費を減らすこと、リユース(Reuse)は一度使ったものを繰り返し再利用すること、リサイクル(Recycle)は紙やアルミ製品などを回収して再び資源として利用することを指します。

取引や、二酸化炭素の排出に課税する環境税など、市場経済のしくみを取り入れる動き(カーボンプライシング)も進んでいます。

目標よりも多く削減できたBは、余剰分の排出枠をAに売ることができる。



↑7 排出権取引の例

気候変動枠組条約締約国会議では、地球温暖化の影響を受けやすい発展途上国を先進国が支援する基金の設立が採択されました。高い環境技術をもつ先進国や企業が、発展途上国に技術支援や資金援助を行うことで、世界全体の温室効果ガスの削減に貢献することもできるでしょう。国際社会における脱炭素社会の実現には、公平性と実効性のバランスをとりながら、国際協調をしていく必要があります。私たちも、将来の世代が安心して暮らせる地球を残すために、自身の生活を見直してみましょう。

### アクティビティに挑戦

持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑤

p.207で確認

Q 脱炭素社会を実現するために、どのような支援の方法があるだろうか。

✓ 確認しよう  
脱炭素社会の実現に向けた日本の目標を、本文から書き出してみよう。

💬 説明しよう  
脱炭素社会の実現のために重要だと思うことを、日本と世界のそれぞれの視点から説明してみよう。

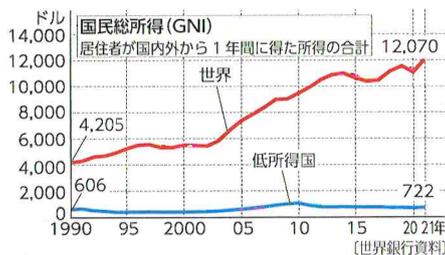


↑1 スラム街と高層ビル(南アフリカ共和国、2019年) アフリカの国々では、急速な経済成長のなかで国内の格差が拡大しています。

🗨️ 対話 🗨️ 写真から貧富の差が読み取れるところを挙げてみよう。

## 6 国際社会の変化

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。



↑2 1人あたりの国民総所得 (GNI) の推移

### 解説① G7・G20

世界の政治や経済について話し合う枠組みで、G7 サミット(主要国首脳会議)には、主要7か国およびEUの首脳が参加します。G20はG7に中国やインドなどの新興国も加えた20の国と地域で構成されます。

G7	G20
日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、カナダ、イタリア、EU	ロシア、インド、ブラジル、中国、南アフリカ
	韓国、インドネシア、オーストラリア、メキシコ、トルコ、アルゼンチン、サウジアラビア



学習課題

グローバル化が進むなかで、国際社会にはどのような変化が起きているだろうか。

### グローバル化とその影響

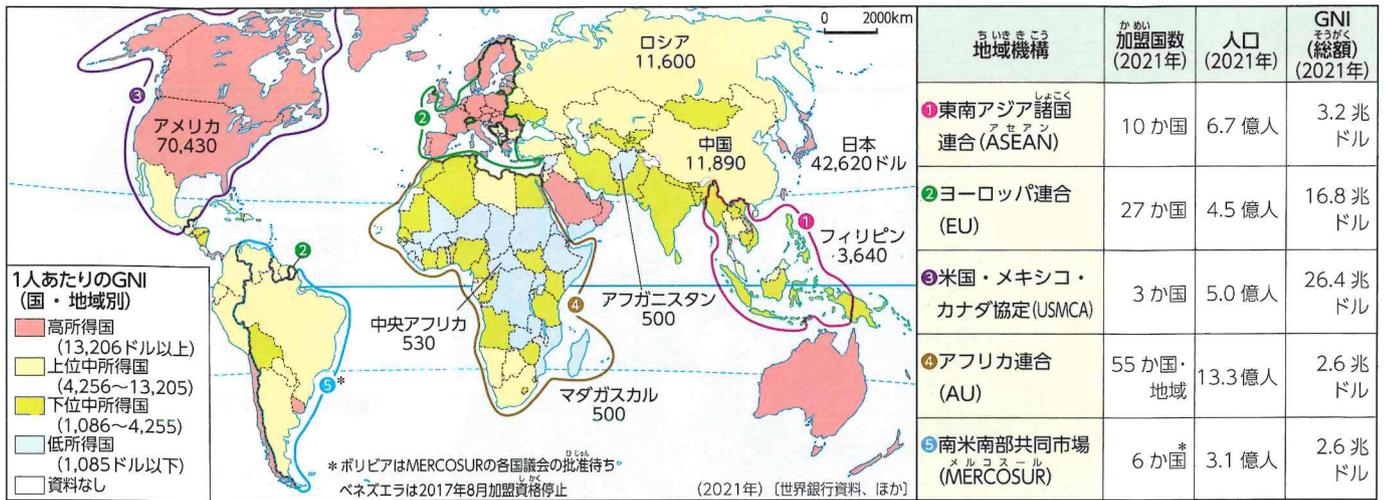
グローバル化によって、世界は以前よりもはるかに結びつきを強め、多くの国が豊かになりました。

アメリカや日本のように工業化の進んだ豊かな地域(先進国)だけでなく、かつて発展途上国とよばれていた国々から、大きく経済発展を遂げた新興国が生まれました。衛生状態が改善し、生活水準が向上するなど、経済成長の恩恵は大きいものがあります。

しかし、世界には依然として格差が残されています。先進国と発展途上国の格差を南北問題といますが、発展途上国の間にも格差が広がっており、南南問題とよばれます。人々を守ろうとせず、経済成長をしようにも実現する力もない政府の存在によって、いまだに貧困に苦しみ、紛争によって住む家を奪われ逃げ惑う人々が多くいます。また、先進国や新興国においても富裕層が増加する一方で、貧しい状況から抜け出せない人々も増えています。弱い立場にある人々が食べるものを心配し、暴力におびえて暮らすような状態は、人間の安全保障が脅かされているといえるでしょう。

### 揺れる国際社会の秩序

先進国はG7の枠組みなどを通じて、世界の政治や経済をリードしてきました。しかし今日



↑ 3 1人あたりの国民総所得 (GNI) と地域機構 **小地蔵** **地図帳活用** **資料活用** 日本と他国の 1 人あたりの GNI を比べてみよう。

では、先進国が世界経済に占める GDP の比率は低下しており、成長した新興国を含む G20 などの新しい枠組みや地域機構の役割が大きくなっています。ルールに基づいた国際協調を支えるための努力が一層必要になっていますが、最近の国際社会はむしろ国家間の対立やグローバル化への批判などの課題に直面しています。

ウクライナに侵攻したロシアに対して、先進国を中心に強い批判が見られることに加え、急速な経済成長によって力をつけた中国とアメリカの間では、協力よりも国際社会への影響力をめぐる対立が目立つようになりました。また、民主主義が十分に機能しないという問題を抱える国が増えてきました。背景の一つに、グローバル化を推進してきたこれまでの政治のあり方は間違っていたのではないかと、そう訴えて登場したポピュリズムの影響があります。ポピュリズムは、例えば外国人などの自分たちとは異なる集団を拒んだり排除したりしようとする排外主義を選挙で訴えて、その勢力を伸ばしてきました。さらに、強権的な指導者によって、言論の自由や三権分立などの立憲主義の土台が脅かされている国も増えています。

こうした課題を乗り越え、世界における人権や民主主義、法の支配が守られ、協調を土台にした秩序が構築できるか、国際社会は大きな試練のなかに置かれています。

**アクティビティに挑戦**

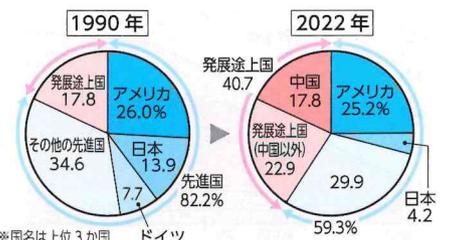
**持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑥**

p.207  
で確認

Q 国内や国家間の格差を是正するために、どのような支援の方法があるだろうか。

**解説② 地域機構** **小地蔵** **地図帳活用**

近隣国やつながりの深い国どうしが政治や経済の協力を進める機構のことをいいます。ヨーロッパ連合 (EU) は 1967 年に成立したヨーロッパ共同体 (EC) を経て、93 年に発足しました。多くの国でそれまで使われていた自国の通貨に代わって共通通貨ユーロが使われています。北米には、2020 年に発効した米国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA)、アフリカには 2002 年発足のアフリカ連合 (AU)、南米には 1995 年に発足した南米南部共同市場 (MERCOSUR) があります。



↑ 4 世界の GDP に占める比率の変化 **資料活用** 1990 年から 2022 年の間に発展途上国の割合はどれくらい増えたか確認しよう。

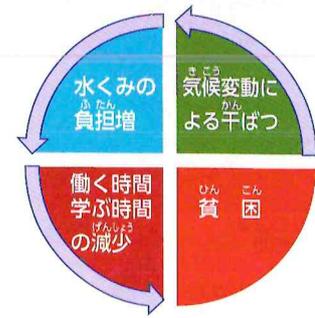
**確認しよう** 南北問題と南南問題とはどのような問題か、本文から書き出してみよう。

**説明しよう** 国内や国家間の格差を是正するために国際社会は弱い政府への介入を強めることが必要か、あなたの考えを説明してみよう。

2 節 地球的課題とその解決



## 水くみから考える貧困問題



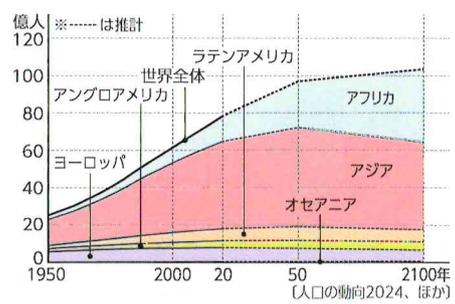
↑1 貧困に関するさまざまな問題

←2 水くみに行く人(インド、2019年)  
水くみは主に女性や子どもの仕事で、安全な水を得るために長距離を歩くこともある重労働です。

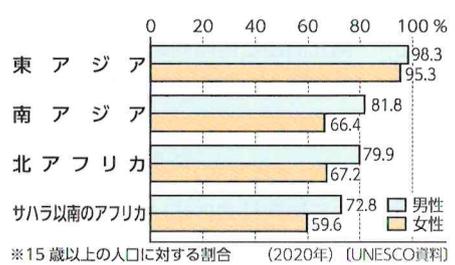
🗣️対話🗣️ 写真のような人々のために国際社会ができることは何だろうか。

## 7 貧困問題とその解消

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。



↑3 世界の地域別人口の推移と予測 (小地域)  
地図帳活用 資料活用 今後人口が急増する地域を確認しよう。



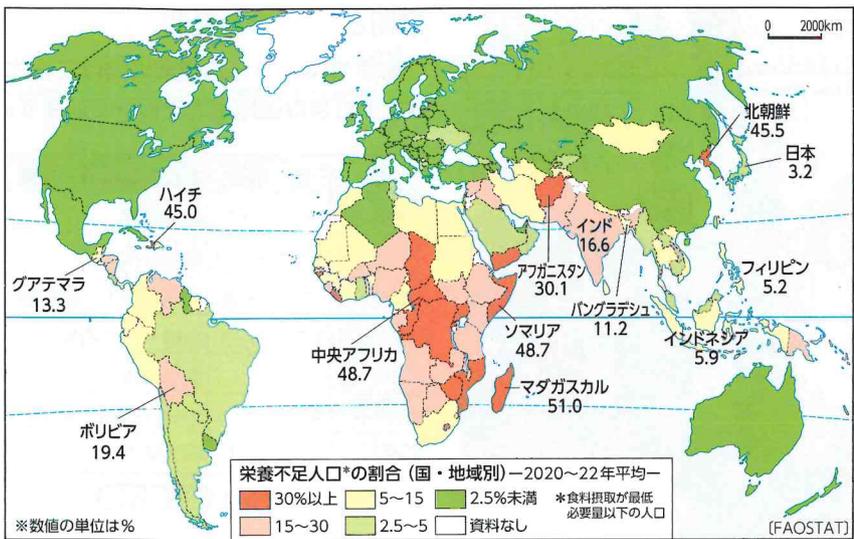
↑4 識字率(男女別)の国際比較

📖学習課題 貧困問題の解消に向けて、国際社会はどのような取り組みを進めているのだろうか。

人口と貧困の問題 今の日本は少子高齢社会となっていて、人口は減少しています。しかし世界全体では、1950年代以降、人口は急速に増加してきました。これは、医療技術の進歩に伴い、多くの地域で衛生や栄養の状態が改善されたことで、死亡率が急激に下がったことなどが影響しています。

しかし、人口の増加に経済成長が追いつかず、世界全体ではいまだに約11人に1人が、1日1.9ドル未満で生活する厳しい貧困状態にあります(2020年)。お金がないことから、生きるために必要な食料や水が十分得られなかったり、電気が使えなかったり、医療や教育を受けられなかったり、お金を稼ぐために危険な状況で低賃金労働を強いられたりする人も多くいます。女性や子ども、高齢者などの社会的に弱い立場にある人が貧困の影響を大きく受けており、特に人口が急増するアフリカや南アジアの発展途上国では、貧困の問題が深刻になっています。

食料や水をめぐる問題 食料が十分得られず、栄養不足によって飢餓状態にある人が多くいる一方、世界全体としては、人々が十分に食べられるだけの量が生産されています。こうし



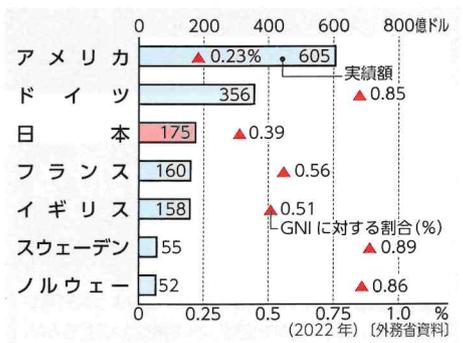
5 栄養不足人口の割合 栄養不足人口の割合を示した地図は「ハンガーマップ」とよばれます。栄養不足人口は世界全体で8億人弱(2022年)とされています。 **小地歴 地図帳活用**

**資料活用** 栄養不足人口の割合が高い国はどの地域に集中しているか確認しよう。

日本全体の食品ロス量(年間)	約522万t
日本の国民1人あたりの食品ロス量	1年間 約41kg
	1日 ごはん茶碗1杯弱 約113g
国連世界食糧計画(WFP)による食料支援量	約420万t

(2020年度) [農林水産省資料、ほか]

6 日本での食品ロスの状況



7 主な国の政府開発援助(ODA)の実績 国連はODAの目標値をGNIの0.7%としています。 **資料活用** 他国と比べた日本の特徴を確認しよう。

た食料の配分は、先進国に偏っており、本来食べることができる食料が捨てられてしまう**食品ロス**が問題になっています。

日本は水資源が豊かな国ですが、世界には安全な水を利用できない人や、水をくむために遠くまで行かなければならない人も多くいます。地球上で人間が利用できる水は限られているほか、地球温暖化による水資源の枯渇や作物の不作なども起こっています。人口の増加に伴い、農地や工場での水の使用量も増えることから、さらなる水不足やそれに伴う紛争も懸念されています。

**貧困の解消に向けて** 貧困の解消は、国際社会の安定に欠かせません。国連などの国際機関も、貧困を解消し経済格差を縮めるための取り組みをしています。また、発展途上国の経済発展や福祉の向上などを進めて貧困を解消するために、先進国を中心に**政府開発援助(ODA)**が行われ、食料援助、教育普及、社会資本の整備など、幅広い分野に資金や技術が提供されています。

NGOを中心に、自立した生活を促し支える取り組みも行われています。例えば、発展途上国で生産される農産物や製品を適正な価格で取り引きし、生産者の自立を目指す運動である**フェアトレード**(公正貿易)や、社会的に弱い立場にある人々が起業するための資金を融資する**マイクロクレジット**(少額融資)などが広がっています。

**アクティビティに挑戦** 持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑦ p.207で確認

**Q** 世界の貧困問題を解消するために、どのような支援の方法があるだろうか。



8 フェアトレードのラベルがついた商品

貧困とはどのような状態か、本文から書き出してみよう。

国際社会における食料の配分や安全な水の利用について、あなたの考えを説明してみよう。



## 平和と安全のために

紛争や災害からの復興に向けて日本はさまざまな国際協力を行っています。

年	国・地域	主な活動内容・対象
1992～93	カンボジア	停戦監視
1993～95	モザンビーク	輸送業務
1996～2013	ゴラン高原	兵力引き離し、輸送業務
2002～04	東ティモール	道路・橋の補修
2010～13	ハイチ	震災復興
2011～	南スーダン	社会資本の整備、物資協力
2022	ウクライナ	輸送業務

↑1 日本の主なPKO **地図帳活用**

←2 台風災害に対する救援活動を行う自衛隊の国際緊急援助隊員(フィリピン)

🗨️ **対話** 🗨️ 自衛隊が行っていることを写真から読み取ってみよう。

## 8

### 国際社会における日本の役割

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。



学習課題

唯一の被爆国であり、平和主義を掲げる日本は、国際社会でどのような役割を果たすべきだろうか。

#### 日本の外交方針

国際社会の課題を解決するために、日本はどのような役割を果たせるでしょうか。

法の支配を基本とした国際協調を重視する日本の外交方針は、G7の一員として、また国連での活動やアジア各国との協力を通じて、国際社会が抱える課題にリーダーシップをとって取り組むというものです。また、悲惨な戦争の経験をもとに平和主義を掲げ、さらに唯一の被爆国として、非核三原則の下、核をもたない立場から核廃絶の重要性を訴えてきました。

#### ほかの国や地域との結びつき

日本は、アメリカと日米安全保障条約を結び、日本の領域がほかの国から攻撃された場合に日本とアメリカが共同して対処すること、アメリカ軍が日本に駐留することを定めています。軍拡が進むなど変化の激しい国際情勢のなかで、国民の生命と財産、領域を守り、ルールと協調に基づいた国際社会を維持していくために、日米関係の重要性は増しています。現在も、日米両国は外部の侵略行為から日本の領域を防衛することに加え、太平洋からインド洋に至る広範な地域で、自然災害発生時の救援や紛争防止、経済発展のため協力しています。



↑3 米づくりの指導をする技術協力プロジェクトの専門家(ウガンダ) 技術協力プロジェクトは、政府開発援助(ODA)の一環として国際協力機構(JICA)が実施する、協力先の政府の課題解決能力の強化を目的とした事業です。教育や医療、農業などの幅広い分野で、現地の人々と共にその国や地域の課題解決に取り組んでいます。 **小地歴** **地図帳活用**

Q 「持続可能な社会のための支援策を提案しよう①～⑦」(p.192～205)で考えた支援方法を表でまとめて発表しよう。

課題	あなたの考えた支援方法	SDGsのどの支援につながるか○をつけよう																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
p.192～193	紛争をなくすために																	
p.194～195	核兵器の廃絶や軍縮を進めるために																	
p.196～197	地球環境問題の解決のために																	
p.198～199	持続可能なエネルギー資源の確保のために																	
p.200～201	脱炭素社会を実現するために																	
p.202～203	国内や国家間の格差を是正するために																	
p.204～205	世界の貧困問題を解消するために																	

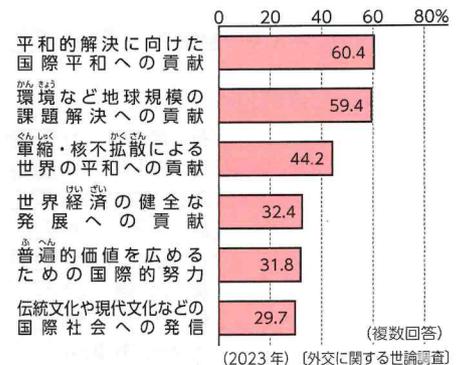
アジアにおいても、東南アジア諸国連合(ASEAN)との協力のほか、アジア太平洋経済協力(APEC)や環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)、RCEP(地域的な包括的経済連携)協定といった経済連携の推進を通じて、日本は地域の結びつきを強める地域主義を積極的に進めてきました。

日本の国際協力

日本は戦後、いち早く成長した国として、政府開発援助(ODA)やJICA 海外協力隊の派遣などを通じて、世界の発展に平和的に貢献しようと努めてきました。また、1992年にカンボジアの復興にあたって自衛隊員や警察官を派遣して以来、日本は国連の平和維持活動(PKO)を通じて、紛争地域の復興支援に貢献してきました。さらには、災害発生時には、救助や医療にあたる国際緊急援助隊を派遣しています。新型コロナウイルス感染症が拡大した際には、発展途上国への資金拠出やワクチンの供与で積極的に貢献しました。このような国際社会との協調により、日本は世界各国から信頼されるようになってきました。

国際社会では、平和と軍縮の實現、貧困の解消など、SDGsの達成のために実に多くの課題がありますが、そのために必要な国際協調の基盤は今までになく弱くなっています。各国と協力して課題を解決するために、日本が率先して努力することが求められています。

- ① 日本、アメリカ、オーストラリアなどの太平洋に面した21の国と地域からなる枠組みで、1989年に発足しました。
- ② 日本、ベトナム、カナダ、メキシコなどの11か国で2018年に発効しました。
- ③ 日本、中国、韓国、ASEAN10か国、オーストラリア、ニュージーランドの15か国で2022年に発効しました。



↑ 国際社会で日本が果たすべき役割

- 戦後の日本の外交方針を、本文から書き出してみよう。
- 日本は国際社会に貢献するために平和構築のための予算や人材派遣を増やすことが必要か、あなたの考えを説明してみよう。

# アクティビティ に挑戦 A

## 2040年の日本の電源構成案を 提案しよう



ワークシートなど

**見方・考え方**  
効率と公正、持続可能性

**学習課題**

2節では、国際社会の課題として、地球温暖化とその解決について学習しました。私たちの生活を支える電力とその発電エネルギーに着目して、特に持続可能性という観点から、将来の日本の電力について考えてみましょう。

**条件設定**

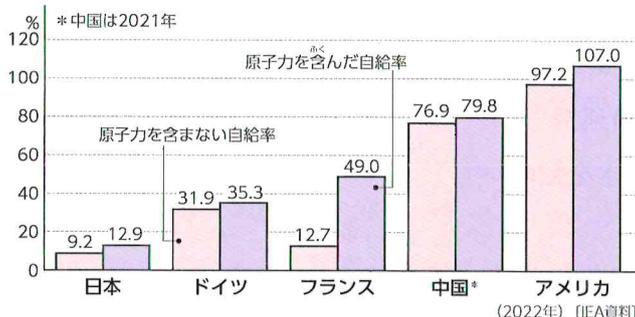
あなたは、国のエネルギー政策を考える担当者です。以下の条件の下で、2040年の日本の電源構成案を考えてみましょう。

- パリ協定では気温上昇を2度未満(できれば1.5度)に抑える長期目標を各国が共有している。
- 世界の温室効果ガスの排出を2050年頃に実質ゼロ(→p.200)にできれば気温上昇を1.5度に抑えられる。
- 日本は2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを宣言した。
- 日本の温室効果ガスは、約9割が石炭や石油・天然ガスなどのエネルギー起源である。

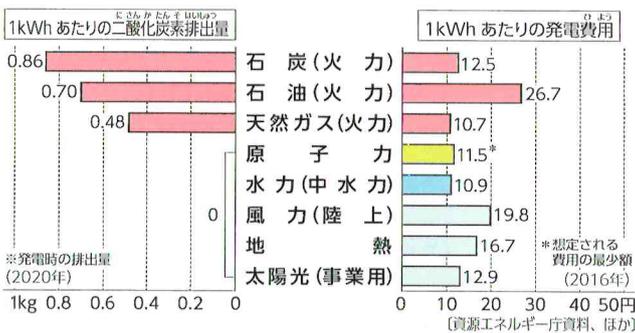
エネルギーの将来を考えることは、脱炭素社会をどう実現するかを考えることになります。政策立案者の立場で、構成案を考えましょう。



### 1 日本の発電エネルギーの特徴を読み取ろう



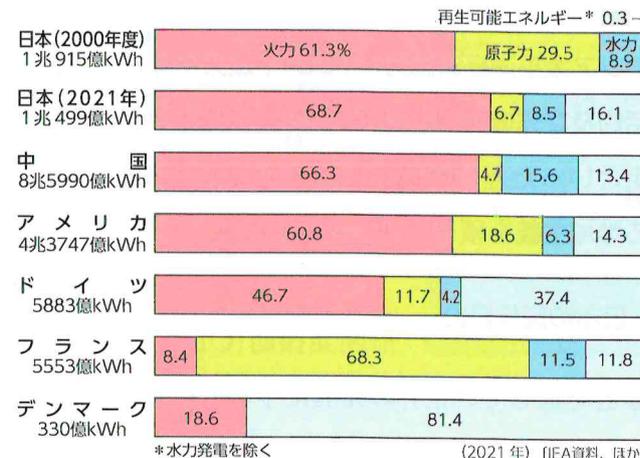
#### ↑1 主要国のエネルギー自給率 (小地図 地図帳活用)



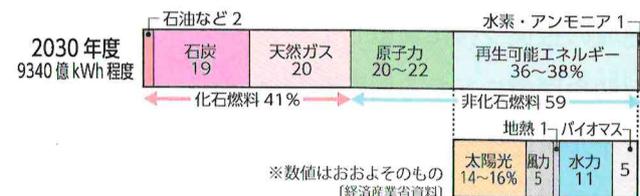
#### ↑3 発電エネルギー別のCO2排出量と発電費用の試算

### TRY1

- 1~4から、日本の発電エネルギーの特徴を読み取ってみよう。
- 対話 これまでの学習を振り返り、脱炭素社会の実現に向けて日本の発電エネルギーにはどのような課題があるか、周りの人と意見交換をしてみよう。



#### ↑2 主要国の発電量の内訳 (小地図 地図帳活用)



#### ↑4 2030年度の電源構成の政府案

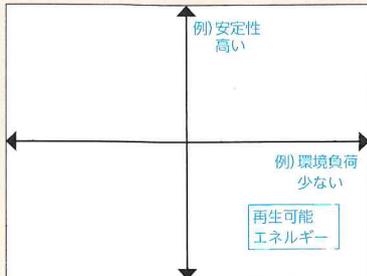


- 地球温暖化 → p.196  
  パリ協定 → p.197  
  化石燃料 → p.198  
  再生可能エネルギー → p.198  
 火力発電・水力発電・原子力発電 → p.199  
  脱炭素社会 → p.200  
  環境保全・エネルギー(理科・技術)

## 2 発電エネルギーの利点と課題を座標軸で整理しよう

### TRY2

- ① 右の表を参考に「安定性」「経済性」「環境への負荷」「安全性」の四つの項目から二つを選んで座標軸をつくり、発電エネルギーについて、利点と課題を整理してみよう。



思考ツール 巻頭9

#### 見方・考え方

効率、公正に近い項目はどれかを考えてみよう。

エネルギー源	化石燃料			原子力	再生可能エネルギー		
	石炭	石油	天然ガス		太陽光	風力	
利点 ↑ 課題 ↓	<p>○ <b>経済性</b>：現時点で発電エネルギーの約8割を占めている。</p> <p>○ <b>安定性</b>：電力の出力を調整しやすく、安定供給できる。</p> <p>△ <b>環境への負荷</b>：エネルギー効率の高い発電方法が開発されつつある。</p> <p>✕ <b>安定性</b>：自給率が低く、ほとんどを輸入に頼っているため、国際情勢の影響を受けやすい。</p> <p>✕ <b>環境への負荷</b>：発電の際に、二酸化炭素などの温室効果ガスを大量に排出するため、火力発電は、国際的な批判を浴びている。</p>			<p>○ <b>安定性</b>：燃料となるウランを安定して確保できる。</p> <p>○ <b>環境への負荷</b>：発電時の二酸化炭素の排出量は少ない。</p> <p>△ <b>経済性</b>：発電自体の費用は低いですが、事故が起これば大惨事となり、そのための費用は膨大である。</p> <p>✕ <b>環境への負荷</b>：放射性廃棄物の処理に関して多くの課題がある。</p> <p>✕ <b>安全性</b>：発電所で事故が起これば国家規模の大惨事になる。現在でも東日本大震災による事故の影響が大きく残っている。</p>		<p>○ <b>環境への負荷</b>：発電時の二酸化炭素の排出量は少ない。</p> <p>○ <b>安全性</b>：問題は少ない。</p> <p>△ <b>経済性</b>：発電費用は徐々に下がっているが、他国と比べるとほかの発電よりも高い。</p> <p>✕ <b>経済性</b>：ダムや風車など新たな施設・設備の建設に多くの費用が必要である。</p> <p>✕ <b>安定性</b>：自然条件に左右されやすく、発電力が不安定なエネルギーが多い。</p>	

## 3 2040年の電源構成案を作成しよう

### TRY3

- ① ④を参考に、表の①「2030年度政府案」を記入しよう。
- ② 右の4人の意見なども参考にし、表の②「2040年あなたの案」を考えて記入しよう。
- ③ **対話** ②の内容が近い人どうしグループを組んで、表の③「実現するために必要なこと」について話し合い、考えを記入しよう。

#### 見方・考え方

持続可能性を重視して、達成のために必要なことを考えてみよう。

- ④ **対話** ③でつくったグループとは構成案が大きく異なるグループと意見交換をして、必要があれば表を修正しよう。

- ⑤ 表を完成させて、発表しよう。

東日本大震災後、多くの原発が稼働を停止しているが、電力は供給できている。原発はすべて停止してほしい。



再生可能エネルギーを増やしても、電気料金が値上げされたら、国民生活や企業の競争力に大きな影響が出る。



火力発電を減らすためには、一定程度の原発は必要だ。自給率の低い化石燃料は、国際情勢の影響を受けやすい。



再生可能エネルギーを産業の軸として技術開発に投資すべきだ。ほかのエネルギー産業の衰退はしかたない。



エネルギー源	化石燃料			原子力	再生可能エネルギー		
	石炭	石油	天然ガス		太陽光	風力	その他
							( )
①2030年度政府案	%	%	%	%	%	%	%
②2040年あなたの案	%	%	%	%	%	%	%
③実現するために必要なこと	<p>例) 温室効果ガスの排出が少ない、効率的な火力発電を開発・普及させる。地域の自然環境にあった再生可能エネルギーを普及させて、エネルギーの地産地消を進める。</p> <p>10年後、20年後が、どのような社会であるべきかを考えてみましょう。</p>						





節の振り返り

1~2節の学習を振り返り、下の表を参考に節の問いをまとめよう

知識

思考・判断・表現

1章の問い 世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのだろうか。

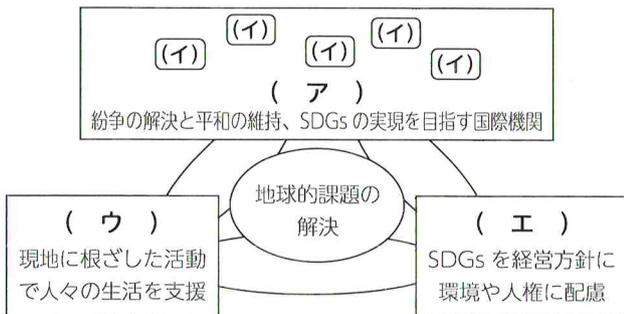
1節の問い 地球的課題の解決のために、国際社会はどのような国際協調を目指しているのだろうか。  
p.184~191

2節の問い 地球的課題に対して、どのような対策や支援を通して国際協調を実現していけばよいのだろうか。  
p.192~207

① 図で知識を整理する

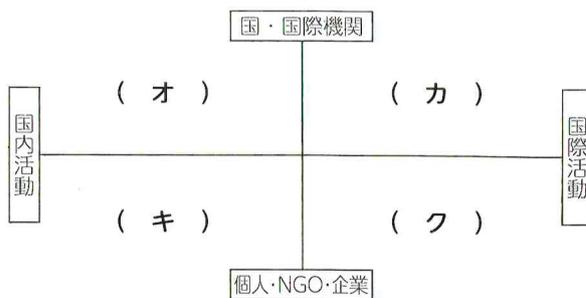
●地球的課題に取り組む主体 (→ p.188、191)

図の**ア**~**エ**に入る語句を選ぼう。  
(民間企業、国家、国際連合、NGO)



●地球的課題を解決するためのさまざまな対策・支援

次の対策・支援は座標軸**オ**~**ク**のどのあたりに位置するだろうか。  
(フェアトレード、国連による食料支援、難民の受け入れ、エシカル消費)



② 図で問いを考える

事実  
2015年に、「**ア**」という世界共通の目標が設定された。

主張  
地球的課題の解決のために、さまざまな主体が協力して、国際協調を目指していく必要がある。

理由  
国家には「**ア**」があり、それぞれが対等な関係にある。  
- 一方で、地球的課題は多岐にわたり、- 国では解決できない。



国家は他国と対等で干渉されない権利をもつことや、地球的課題の解決にはさまざまな主体の協力が必要なことを学習したよ。

主張  
私は、地球的課題に対して、以下のような対策や支援が必要である(ができる)と考える。そのためには国際協調の実現が重要になる。

今の私ができる対策・支援

今の日本政府ができる対策・支援



「誰がやるか」と「いつやるか」を分けて考えると、対策や支援が具体的になるね。今の私たちができることは何だろう。

③ 問いをまとめる

②で考えた図を参考に、「国際連合」「NGO」「民間企業」「SDGs」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。

②で考えた図を参考に、具体的な対策や支援を取り上げて、節の問いの答えをまとめよう。



① 「学習の前に」を振り返ろう。 p.182-183 (学習の前に)を振り返る



4部は国際社会の学習でした。その国特有の問題もあれば、日本でも起きている問題もありますね。



これまでの学習を振り返ることで、イラストとSDGsの関連が具体的に見えてきました。



- (1) p.182~183 TRY2 を振り返り、イラストの **ア**~**カ** の場面は、SDGs のどの目標と深く関わっているか、右の表にまとめよう。 **ア**~**カ** 以外の場面からも探してみよう。
- (2) **対話** (1) でまとめた表から特に大切だと考える場面と関わりの深い目標を一つ選び、周りの人と選んだ理由を話し合おう。
- (3) (2) で選んだ場面の課題を解決するために、どのような支援や対策が必要か、章の学習を踏まえて、右の四つの視点から考えてみよう。

場面	関わりの深い目標	場面	関わりの深い目標
<b>ア</b>	例) 12 つくる責任つかう責任	<b>エ</b>	
<b>イ</b>		<b>オ</b>	
<b>ウ</b>		<b>カ</b>	

今の私にできること	10年後の私にできること	今の日本政府にできること	10年後の日本政府にできること

② 節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。

**1章の問い**

世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのだろうか。

**ステップ1**

私は、国際社会とは \_\_\_\_\_ (A)

\_\_\_\_\_ であると考えよう。

**ステップ2**

世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、

\_\_\_\_\_ (B)

\_\_\_\_\_ することができる。

**ステップ1**

(1) 下線部(A)を考えよう。

**見方・考え方**

国内とは異なる国際社会の特徴を考えよう。

**ステップ2**

(1) ①で考えた支援や対策を参考に、下線部(B)のアイデアを出そう。

今の私にできること	10年後の私にできること	今の日本政府にできること	10年後の日本政府にできること

(2) **対話** (1)について、周りの人と意見交換をしながら、下線部(B)をまとめよう。



① 章の学習を振り返って、気になった学習内容や事例を挙げよう。

観点1 ESGイニシアチブ SDGsの17の目標から振り返ろう

(1) SDGsの17の目標から、章で学習した内容と特に関連が深いと考える目標を挙げて、下の表で整理しよう。



SDGsの目標	関連が深い学習内容や事例
例) 1 貧困をなくそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレードの普及</li> <li>・パリ協定の目標達成と脱炭素社会の実現</li> <li>・平和の構築と難民支援</li> </ul>
例) 13 気候変動に具体的な対策を	
例) 16 平和と公正をすべての人に	

観点2 自分の住む地域の視点で振り返ろう

(2) 地方公共団体の広報誌やウェブサイトから、章で学習した内容と特に関連が深い事例を調べて、下の表で整理しよう。



地域の問題	関連が深い学習内容や事例
例) ごみの埋め立て処分場に限りがあ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rの徹底と循環経済への移行</li> <li>・ユニカル消費の推進</li> <li>・国際NGOとの連携強化</li> </ul>
例) 家庭部門で温室効果ガスの排出量が増加している	
例) 国際交流の場が少ない	

② 対話 ①で整理したことを周りの人と持ち寄って、探究したいテーマを表にまとめよう。

 日本の難民支援のあり方を探究したい。	日本が目指すべき電源構成を探究したい。	
 貧困解消のために自分ができていることを調べたい。	NGOを支援する具体的な制度を考えたい。	

この章のなかから選んだテーマ	探究するためにさらに調べたいこと
例) 日本の難民支援のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や主な国の難民の受け入れ状況</li> <li>・難民条約</li> <li>・国連難民高等弁務官事務所の活動</li> </ul>

探究するテーマについて、先生や家族などの周りの大人にもアドバイスをもらってみましょう。



- 章の重要文語
- 主権国家 (p.184)
  - 排他的経済水域 (p.184)
  - 北方領土 (p.186)
  - PKO (p.188)
  - 安全保障理事会 (p.189)
  - SDGs (p.190)
  - NGO (p.191)
  - 難民 (p.193)
  - 核抑止 (p.194)
  - パリ協定 (p.197)
  - 再生可能エネルギー (p.198)
  - カーボンニュートラル (p.200)
  - エシカル消費 (p.201)
  - 南北問題 (p.202)
  - 食品ロス (p.205)
  - 政府開発援助 (p.205)
  - フェアトレード (p.205)
- ▶▶ QR 一問一答で確認しよう

- 振り返り
- 節の問い：学習を通して考えをまとめることが
    - よくできた
    - できた
    - あまりできなかった
  - 章の問い：学習を通して考えをまとめることが
    - よくできた
    - できた
    - あまりできなかった
  - 章の学習を通して特に重要だと思ったこと
  - 課題探究学習のテーマ案

# 脱炭素社会の実現に向けて 地方公共団体の挑戦

未来に向けて

QR他分野リンク

環境・エネルギー



## ① 「脱炭素先行地域」としての取り組み(神奈川県横浜市)

横浜市は、長年にわたって二酸化炭素の排出削減に取り組んできました。臨海部の「みなとみらい21地区」は、2030年までに家庭やオフィスビルなどで二酸化炭素の排出の実質ゼロを目指す「脱炭素先行地域」に選定されています。

### ① 都市型の脱炭素モデル「みなとみらい21地区」

屋上緑化やZEB化(→p.161)を通して、オフィスや商業施設の徹底した省エネルギー化を進めています。



↑1 屋根などが緑化されたショッピングセンター

### ② コミュニティサイクルの普及

貸し出しや返却ができる場所が市内各所にあり、自動車の利用を抑えることによる脱炭素化を目指しています。



↑2 コミュニティサイクルと設置ポート

## ② エコアイランドに向けた取り組み(沖縄県宮古島市)

「エコアイランド宮古島宣言2.0」を掲げる宮古島市は、島の環境を守り、島がもたらす資源を大切に使うことで、いつまでも住み続けられ、そして愛される豊かな島を目指しています。

### ① エネルギーの地産地消「来間島マイクログリッド」

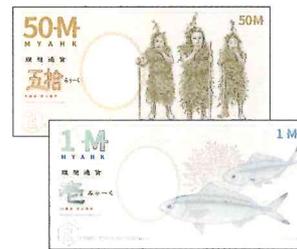
宮古島と橋で結ばれている来間島では、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと蓄電池を用いて、地産地消型の電力供給のしくみづくりに向けて実証を進めています。



←3 来間島(手前)と宮古島(奥) 太陽光発電と蓄電池を活用し、災害時に島内で電力を賄えるしくみを整えています。

### ② 自然、暮らし、人々をつなぐ「理想通貨」

市が発行する理想通貨は、ビーチクリーンなどのエコな活動で入手できます。観光客向けには環境に配慮した観光を促すガイドラインが作成されています。



←4 理想通貨(左)とガイドライン(右) 上の理想通貨には、ユネスコ無形文化遺産のパーントゥが描かれています。

## NEXT2030 へのヒント

## 2030年のSDGs達成とその先を目指して

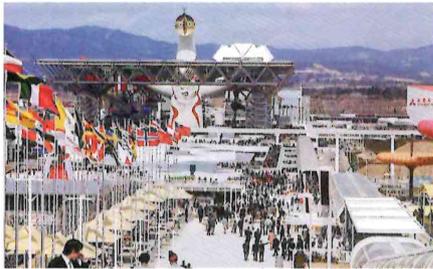


脱炭素社会への取り組みを行う先進的な都市に、デンマークの首都コペンハーゲンがあります。コペンハーゲンでは、自転車専用道路が各所に整備されています。また、専用センサーが設置された道路では、自動車を効率よく運転できるように交通管理が行われています。さらに、洋上風力発電や下水汚泥からのバイオガス発電を進めて、再生可能エネルギーの比率を大幅に高めました。その結果、二酸化炭素の排出量は2005年と比較して40%まで下がっています。脱炭素社会の実現に向けた地方公共団体の取り組みが、国そして世界全体に広がっていくことが期待されています。

## 1 大阪・関西万博の開催

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会(大阪・関西万博)が2025年に開催されます。万博とは、万国博覧会の略称で、地球規模の課題に取り組むために世界各地から新しい知識や技術が集まる国際イベントです。

万国博覧会のうち、5年以上の期間を設けて開催される国際博覧会が日本で開催されるのは、2005年の愛・地球博(愛知万博)以来、20年ぶりです。「未来社会の実験場」として、SDGs(→巻頭1~2、p.5、190)達成と次なるステージに向けた飛躍が期待されています。



↑1 大阪万博(1970年) **小地球**  
地図帳活用



↑2 愛・地球博(愛知県、2005年)  
地図帳活用



↑3 大阪・関西万博の会場イメージ



↑4 大阪・関西万博の開催予定地 大阪市此花区の夢洲で開催されます。ARやVRなどの先端技術を活用したバーチャル万博の実施も予定されています。

地図帳活用

## 2 「Society5.0」でSDGsを達成する

大阪・関西万博が開催される2025年は、SDGs達成の目標年まで残り5年となる年です。目標達成の状況を確認し、取り組みをさらに進める絶好の機会になるといわれています。

SDGs達成のポイントとなるのが、国家戦略である「Society 5.0」の実現です。「Society 5.0」とは、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会です。SDGsのいずれかの目標をテーマとしたパビリオン(展示館)には、アンモニア発電や「空飛ぶクルマ」といった、カーボンニュートラル(→p.200)や次世代モビリティなどの最先端の技術や社会システムが展示・実証される予定です。

また、水素を活用した旅客輸送システム(→p.199)や食品ロス(→p.205)の削減など、環境に配慮した運営が計画されています。

## NEXT2030へのヒント

## 2030年のSDGs達成とその先を目指して



日本、そしてアジアで初めて開かれた万博は、「人類の進歩と調和」をテーマとした1970年の大阪万博です。入場者数約6400万人という高度経済成長を象徴する一大イベントとなりました。大阪万博をきっかけに社会に普及したのものとして、動く歩道や缶コーヒー、ワイヤレスホン(携帯電話)などがあります。多様な歴史的・文化的資源をもつ大阪・関西地域は、古くから商業や工業が栄え、新しい市場や技術が多く生まれた地域です。大阪・関西万博でも、SDGsの達成に加え、その先の社会を創造するためのヒントがたくさん生まれることが望まれます。

持続可能な社会



脱炭素社会の実現には、発電エネルギーの見直しは不可欠だと思う。「持続可能な社会」という観点で考えてみようかな。



日本で初めて商業運用された洋上風力発電所 (秋田県能代市、2022年)

# 5部 課題探究学習

5部では、これまで学習したことを踏まえて、みずから課題を設定して探究学習を実践します。各章の「学習を振り返ろう」で考えた探究テーマを参考に学びを深めていきましょう。



民主主義

若い世代の投票率が低下しているね。私たちもあと数年で選挙権をもつので、「民主主義」という観点で考えてみたい。



高校での期日前投票 (山梨県甲府市、2022年)

効率と公正

この路面電車は、自動車に頼りすぎない社会を目指して新設されたんだ。自分のまちではどのような交通手段がよいか、「効率と公正」の観点で考えてみるよ。



新設された路面電車 (栃木県宇都宮市、2023年)